

6月から募集している「せんばんふるさとマイスター」に、3人の方が認定されました。この制度は、生活に密着した主に産業の分野で、卓越した知恵や技能を持つ方を認定し、その継承活動を支援するものです。



ふるさとマイスターに認定された（写真左から）大石さん、佐藤さん、真崎さん

話 産業分野の継承活動を支援 3人のふるさとマイスター誕生！

引き続き、マイスターの応募をお待ちしています。

話 溝畑宏観光庁長官講演会 観光への取り組みを熱弁

9月4日、たざわこ芸術村を会場に、田沢湖・角館観光連盟設立を記念した溝畑宏観光庁長官の講演会が行われました。「震災後の観光の取組」と題したこの講演会は、観光行政トップの話を受ける貴重な機会とあって、観光業に携わる方々など約130人が集まりました。「観光は総合産業、根底には地域作りがあり、そこに住む人みんなが自信と元氣と誇り



溝畑長官は昭和35年京都府生まれ。東京大学法学部卒業後、自治省入省。大分県企画部長、2002年ワールドカップ組織委員会実行委員、(株)大分フットボールクラブ代表取締役を経て22年1月より現職。

話 仙北地方ささら大競演会 復興願い勇壮に舞う

8月28日、たざわこ芸術村大駐車場を会場に、仙北地方ささら大競演会が開催されました。この競演会は、東日本大震災の犠牲者を追悼し、東北復興を祈願しようと、仙北市伝統文化活性化委員会（大山文夫代表

が企画。仙北市から6団体、大仙市から4団体のほか、能代市の常州下御供佐々楽や湯上市の新関ささらが特別出演し、千人以上の観客を魅了しました。

写真：1. オープニングを飾った梅沢ささら 2. 常州下御供佐々楽（能代市） 3. 新関ささら（湯上市） 4. 戸沢ささら 5. 白岩こどもささら 6. 広久内ささら 7. 小山田ささら 8. 白岩ささら 9. 堂野口ささら



TOPICS 地域の話

角館のお祭り 18台の曳山が町内練り歩く

「角館のお祭り」が9月7日から9日の3日間にわたり行われ、町中が祭り一色にまつまれました。角館のお祭りは、地域の繁栄や商売繁盛、家族の無病息災などを祈願するもので、角館町岩瀬の神明社（9月7日、8日）と西勝楽町の薬師堂（9月8日、9日）の祭りが一緒になったものです。

歌舞伎人形や武者人形をのせ、きれいに飾った18台の曳山が7日に神明社へ参拜。8日は佐竹北家当主へ上覧。薬師堂へは8日または9日に参拝に向かいます。曳山は飾山囃子を奏で、艶やかな手踊りを披露しながら町内を曳き廻します。曳山同士が道でかちあうと、通行の優先権をめぐる交渉を繰り返すため、曳山同士が激しく衝突する山ぶっつけがはじまります。曳山を曳く若者はかりでなく、見物する人をも魅了する華麗で豪快な祭り絵巻が繰り広げられ、今年も明け方まで若者のかけ声とお囃子の音が響いていました。

平成23年度 おやま囃子コンクール

9月8日、佐竹北家上覧時に、各町内の山車が一堂に会し、おやま囃子コンクールが開催されました。厳正な審査の結果、次の方々が各賞を受賞されました。

＜囃子部門＞

- 最優秀賞（角館のお祭り保存会長賞）
岩瀬若者一同 祭喜会 代表 加藤清貴
- 優秀賞（角館町観光協会賞）
横町若者 角館山本組 代表 山本善英
- 優秀賞（仙北市商工会賞）
本町通り 神代芸能保存嬉遊会 代表 小原喜代四郎

＜手踊り部門＞

- 最優秀賞（角館のお祭り保存会長賞）
七日町丁内 藤美会 代表 藤原ミサ子
- 優秀賞（角館町観光協会賞）
本町通り 高橋キヌ子社中 代表 高橋キヌ
- 優秀賞（仙北市商工会賞）
横町若者 渡部幸子社中 代表 渡部幸子

